

# 2025 年度 事業報告書

2025年4月 1日から  
2026年3月31日まで

一般社団法人大学スポーツ協会

## I 総括

2025年度は、大学スポーツの振興に向けて、学生や大学・競技団体会員の需要や要望を吸い上げ、一般社会の関心や要請を掛け合わせ、相互を連携させて大学スポーツの新たな価値を創出する活動を推進し、「共創プラットフォーム」としてのUNIVASの位置づけを確立させることを掲げて活動を行った。特に、会員大学・競技団体との密接な接点の創出や連携企業の拡大を始め、年初に掲げた施策については計画通りの遂行を行った。

## II 実施事業の概要

### 1. 学業充実・デュアルキャリア形成施策の推進事業

#### (1) 学習支援プログラムの提供

- ▶ 大学入学後の学業充実の準備に向けて、スポーツ推薦等入学予定者等を対象とした入学前の教育プログラムや入学後のオリエンテーションや初年次教育、正課授業の中で活用できる教材をアカデミックパートナーである株式会社KEIアドバンスとともに展開し、以下の教材を18大学に提供した。

大学名	活用教材	提供数
愛知大学	スポーツと学びのハンドブック	62
桜美林大学	運動部学生のためのスポーツ探究ことば入門	100
大阪工業大学	スポーツと学びのハンドブック	100
沖縄大学	運動部学生のためのスポーツ探究ことば入門	80
	スポーツと学びのハンドブック	22
鹿屋体育大学	スポーツと学びのハンドブック	85
環太平洋大学	運動部学生のためのスポーツ探究ことば入門	692
九州共立大学	運動部学生のためのスポーツ探究ことば入門light	60
駒澤大学	スポーツと学びのハンドブック	150
星槎道都大学	スポーツと学びのハンドブック	20
仙台大学	スポーツと学びのハンドブック	700
園田学園大学	スポーツと学びのハンドブック	95
中京大学	運動部学生のためのスポーツ探究ことば入門	141
常磐大学	スポーツと学びのハンドブック	100
日本文理大学	運動部学生のためのスポーツ探究ことば入門	160
羽衣国際大学	スポーツと学びのハンドブック	25
松本大学	運動部学生のためのスポーツ探究ことば入門	109
	運動部学生のためのスポーツ探究数学入門	109
	運動部学生のためのスポーツ探究英語入門	109
名城大学	スポーツと学びのハンドブック	365
流通科学大学	スポーツと学びのハンドブック	70
合計		3,354

(2)デュアルキャリア形成支援プログラムの提供

➤在学生のデュアルキャリア形成をサポートするプログラムを推進した。

1)社会人基礎力養成研修(旧 DC ONLINE for TEAM)

➤社会人基礎力養成研修で設定している12の資質・能力をテーマに1回または複数回で大学の運動部を対象に対面型のセミナーを実施した。

※延べ開催数・受講人数:72回 / 4,665名

実施大学・競技団体	受講対象	受講人数
大阪成蹊大学	フットサル部、チアダンス部、テニス部、ソフトテニス部、バドミントン部、卓球部、バトントワーリング部、女子陸上部	131
岐阜協立大学	強化指定部	750
九州共立大学	キャリアに関する授業	31
近畿大学	卓球部	76
神戸親和大学	強化指定各クラブ	143
第一工科大学	硬式野球部、バスケットボール部、バレー部	48
中京大学	キャリアに関する授業	20
東北工業大学	硬式野球部	71
名古屋学院大学	バスケットボール部	72
日本体育大学	9人制バレー部	93
日本経済大学	サッカー部、キャリアに関する授業	1,908
羽衣国際大学	硬式野球部、女子ソフトボール部、女子駅伝部、バドミントンクラブ	53
八戸学院大学	男女ラグビー部、女子スケート部、自転車競技部、男子バスケットボール部	506
東日本国際大学	サッカー部	25
広島経済大学	硬式野球部、男子バレーボール部、男子バスケットボール部、体育局	109
福岡大学	サッカー部	280
富士大学	バスケットボール部、サッカー部、テニス部	234
佛教大学	全本部団体各本部(体育会本部・文化会本部・應援團本部・報道本部・鷹陵祭実行委員会)、各所属団体	52
明星大学	体育会所属部	63

2)大学・競技団体別デュアルキャリア形成セミナー

▶リーダーシップ、組織のマネジメント、モチベーションコントロール等を学ぶ各セミナーを大学や競技団体向けに、正課授業やキャプテン向けの学内研修等において実施した。

受講人数: 合計1,177名

実施大学・競技団体	実施研修内容	受講人数
共栄大学	リーダーシップ	18
志學館大学	組織マネジメント研修	73
専修大学	リーダーシップ	86
中京大学	モチベーションマネジメント	49
電気通信大学	リーダーシップ	37
東京都市大学	リーダーシップ	66
東京理科大学	モチベーションマネジメント	92
東北大学	組織マネジメント研修	16
名古屋学院大学	コミュニケーション講座	242
	リーダーシップ	33
広島経済大学	リーダーシップ	60
びわこ成蹊スポーツ大学	リーダーシップ	19
福岡大学	コミュニケーション講座	122
	リーダーシップ	110
佛教大学	リーダーシップ	60
流通科学大学	コミュニケーション講座	31
	リーダーシップ	42
全日本学生スキー連盟	組織マネジメント研修	21

2. 安全安心なスポーツ環境整備の推進事業

▶主に「UNIVAS SSC制度」や「UNIVAS CUP安全体制支援制度」、「安全安心セミナー」、「UNIVAS 相談窓口」「ドーピング防止教育教材」の普及・活用促進取組を推進した。

(1)UNIVAS SSC制度

▶本制度は、UNIVAS安全安心ガイドラインに則って定めた13の評価項目に基づき部活動に関する安全体制を評価し、合格基準を満たしているUNIVAS会員に安全安心認証を発行するもの。  
2025年度も、UNIVASが作成したマニュアルの雛形の活用等も提案しながら、認証取得を促進した。

①認証取得済み会員

2025年度:22会員(19大学、3競技団体)

累計 :78会員(53大学、25競技団体)

※4月1日付認証分は、その前年度分として記載

<p>大学 (53)</p>	<p>【2021年度】(4) 中京大学、環太平洋大学、帝京大学、羽衣国際大学</p> <p>【2022年度】(5) 関東学院大学、愛知学院大学、日本福祉大学、山梨学院大学、武蔵丘短期大学</p> <p>【2023年度】(10) 國學院大学、成蹊大学、長崎国際大学、新潟医療福祉大学、岐阜協立大学、福岡大学、平成国際大学、大阪経済大学、帝京平成大学、中央大学</p> <p>【2024年度】(15) 亜細亜大学、佛教大学、徳島文理大学、敬愛大学、四国大学、広島修道大学、愛知大学、京都橘大学、神戸学院大学、沖縄大学、九州共立大学、仙台大学、関西大学、東北学院大学、大東文化大学</p> <p>【2025年度】(19) 甲南大学、流通科学大学、熊本学園大学、新潟経営大学、日本経済大学、志學館大学、星槎道都大学、福岡工業大学、松山大学、東京女子体育大学、東京女子体育短期大学、朝日大学、名古屋学院大学、桃山学院大学、明治学院大学、新潟食料農業大学、阪南大学、四国学院大学、福井工業大学</p>
<p>競技団体 (25)</p>	<p>【2021年度】(1) 日本学生航空連盟</p> <p>【2022年度】(1) 全日本学生ウエイトリフティング連盟</p> <p>【2024年度】(20) 全日本学生スキー連盟、日本学生ソフトテニス連盟、全日本大学ソフトボール連盟、日本学生サーフィン連盟、全日本学生馬術連盟、日本アメリカンフットボール協会、日本学生ホッケー連盟、全日本学生パワーリフティング連盟、全日本学生ハンドボール連盟、全日本大学バスケットボール連盟、全日本学生テニス連盟、全日本学生カヌー連盟、全日本学生なぎなた連盟、日本ローイング協会、全日本学生レスリング連盟、日本オリエンテーリング協会、全日本大学バレーボール連盟、全日本学生空手道連盟、日本フライングディスク協会、少林寺拳法連盟</p> <p>【2025年度】(3) 全日本大学野球連盟、日本水泳連盟、全日本学生バドミントン連盟</p>

②2024-2025年度に認証取得に関する個別提案を行った会員

<p>大学 (67)</p>	<p>【2024年度】(33) 立教大学、駒澤大学、聖カトリナ大学、東亜大学、至誠館大学、法政大学、早稲田大学、名桜大学、沖縄国際大学、至学館大学、南山大学、広島国際大学、広島経済大学、広島大学、大阪体育大学、大阪国際大学、大阪工業大学、摂南大学、龍谷大学、東海大学、九州医療科学大学、宮崎大学、崇城大学、神戸親和大学、関西国際大学、関西学院大学、東北工業大学、東北福祉大学、青山学院大学、びわこ成蹊スポーツ大学、立命館大学、京都産業大学、京都先端科学大学</p> <p>【2025年度】(34) 鹿屋体育大学、第一工科大学、鹿児島大学、新潟産業大学、育英大学、中央学院大学、大阪成蹊大学、園田学園大学、兵庫大学、久留米大学、九州女子大学、九州産業大学、九州国際大学、西日本工業大学、北海道大学、北海道教育大学、北翔大学、札幌国際大学、札幌大学、天理大学、京都薬科大学、大阪大谷大学、桜美林大学、芝浦工業大学、岡山商科大学、くらしき作陽大学、金沢大学、金沢学院大学、北陸大学、富山大学、西南学院大学、追手門学院大学、学校法人常翔学園、愛知淑徳大学</p>
<p>競技団体 (7)</p>	<p>【2024年度】(1) 全日本学生アーチェリー連盟</p> <p>【2025年度】(6) 全日本学生柔道連盟、日本ラグビーフットボール協会、日本ボクシング連盟、トライアスロンジャパン、全日本テコンドー協会、日本学生射撃スポーツ連盟</p>

(2) 相談窓口の設置

- ▶大学の運動部におけるハラスメント問題等に関して、学生のみならず、指導者や保護者からの相談を直接受け付ける「UNIVAS 相談窓口」を継続開設。UNIVAS オフィシャルサイト周知に加え、会員との面談時には専用チラシの提供による普及活動を励行した。

相談件数	50件
うちコンプライアンス委員会取扱件数	7件

(3) UNIVAS CUP 安全体制支援制度

- ▶UNIVAS CUP指定大会の安全向上と SSC認証の取得促進を目的に“UNIVAS CUP安全体制支援制度”としてMS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社の支援も受けて展開した。

実施件数 / 人数(延べ)	21 件 / 232 人
金額	4,416千円

【本制度利用団体一覧】

	団体名	大会名	開催期間	対象医療従事者数
1	公益財団法人 全日本大学野球連盟	第74回全日本大学野球選手権大会	6/9-15	6
2	一般社団法人 全日本学生なぎなた連盟	第64回全日本学生なぎなた選手権大会	8/10	2
3	一般社団法人 全日本学生レスリング連盟	令和7年度全日本学生レスリング選手権大会	8/21-24	15
4	一般社団法人 全日本学生テニス連盟	2025年全日本学生室内テニス選手権大会	12/7-14	9
5	一般社団法人 全日本学生カヌー連盟	第61回全日本学生カヌースプリント選手権大会	8/26-8/31	9
6	公益財団法人 日本水泳連盟	第72回 全国国立大学選手権水泳競技大会	8/6-9	3
7	一般社団法人 全日本大学ソフトボール連盟	第60回全日本大学ソフトボール選手権大会	男子 8/29-8/31 女子 9/6-8	18
8	公益社団法人 日本ローイング協会	第52回全日本大学ローイング選手権大会	9/3-7	50
9	一般社団法人 日本学生ソフトテニス連盟	令和7年度全日本学生選手権大会	8/29-9/3	18
10	一般社団法人 日本学生サーフィン連盟	2025年第54回秋季全日本学生サーフィン選手権大会	10/25-26	7
11	一般社団法人 全日本学生馬術連盟	全日本学生馬術大会2025	10/29-11/3	14
12	一般社団法人 日本学生ホッケー連盟	全日本学生ホッケー選手権大会	10/30-11/3	15
13	一般社団法人 日本フライングディスク協会	全日本大学アルティメット選手権大会 本戦・決勝戦	11/1.2	4
14	一般社団法人 全日本学生ハンドボール連盟	令和7年度全日本学生ハンドボール選手権大会	11/2-6	17

15	一般社団法人 全日本学生バドミントン連盟	第76回全日本学生バドミントン選手権	11/6-9	7
16	公益社団法人 日本アメリカンフットボール協会	第80回全日本大学アメリカンフットボール選手権	11/8	6
17	公益社団法人 日本オリエンテーリング協会	日本学生オリエンテーリング選手権大会(ミドル・ディスタンス、リレー競技部門)	3/14-15	2
18	一般社団法人 全日本大学バスケットボール連盟	第3回全日本大学バスケットボール新人戦	7/5-13	9
19	一般社団法人 全日本大学バレーボール連盟	第77回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 第71回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会	12/1-12/7	8
20	全日本学生パワーリフティング連盟	全日本学生パワーリフティング選手権大会	12/6-12/7	7
21	全日本学生ウエイトリフティング連盟	令和7年度文部科学大臣杯 全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(I部)(女子)	男子 12/11-14 女子 12/11-14	6

(4) 安全安心セミナー

▶安全安心に関するテーマを分け、隔月で「安全安心セミナー」をオンラインで開催。「安全安心ガイドライン」に記載している4つの重大事故と安全管理体制の構築について、また近年のスポーツ界における重要な課題となっているメンタルケアや女性アスリートの健康問題、栄養補給について取りあげ、MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社の支援も受け展開した。(開催回数:6回、受講者数:622名)

日程	テーマ	講師	参加者数
5/29	熱中症の予防と対策	細川 由梨氏 (早稲田大学 スポーツ科学学術院 准教授)	97
6/24	スポーツ外傷における救急対応	山本 利春氏 (国際武道大学 体育学部及び大学院 教授)	158
9/9	心肺停止・突然死の予防と対策	佐保 豊氏 (NPO法人スポーツセーフティージャパン 代表理事)	48
10/28	アスリートの栄養	鈴木 志保子氏 (神奈川県立保健福祉大学 大学院保健福祉学研究科 研究科長)	55
12/4	アスリートの心の発達に	江田 香織氏	64

	つながるサポート	(東洋大学 健康スポーツ科学部 准教授)	
2/19	スポーツに関わる女性の体調管理とパフォーマンスサポート	須永 美歌子 氏 (日本体育大学 児童スポーツ教育学部 教授)	200

(5) スポーツ外傷・障害予防研究の推進

- ▶MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社の協賛により、慶應義塾大学との共同研究を2022年度から4年間※に亘り実施、今後の外傷・障害予防に役立つ貴重な研究成果を得た。2026年8月頃の成果報告会にて公表予定。  
(※当初3年間の予定であったが、コロナ禍で初年度の調査が不調となったことから1年間期間延長を行った。)

(6) ドーピング防止教育普及事業の推進

- ▶スポーツ庁委託事業を2023年度から3年間に亘り受託し、教育教材・プログラムの開発し、規模や形態の異なる大学において講義を行った。受講者や講義の機会を提供いただいた教員のアンケート回答からも当該教材の有効性を確認でき、本年度は特にその周知・活用促進を励行した。

3. 大学スポーツ認知拡大の推進事業

(1) 競技横断型大学対抗戦の開催

- ▶大学スポーツのブランド価値向上と認知拡大を通じたファン層の開拓を目的に、「UNIVAS CUP 2025-26」として競技横断型の大学対抗戦を実施。また、2026年3月に開催を予定をしていた「第66回全日本学生グライダー競技大会」の開催が中止となり、今年度の競技横断型対抗戦「UNIVAS CUP 2025-26」は、32競技 35大会の開催となった。各指定大会に対しては広報や映像配信、安全体制の整備支援などを通じて大会の運営をサポートした。

[指定大会の概要]

開催指定大会	・32 競技 35 大会(下記一覧表参照)
--------	-----------------------

[開催指定大会一覧]\*共催 27 競技 30 大会

	大会名	開催期間	開催場所	参加大学数	総ポイント数
1	全日本大学野球選手権大会	6/8 -6/15	明治神宮野球場・東京ドーム	男子 27 校	3,680
2	全日本学生アーチェリー王座決定戦	6/14 -6/15	つま恋リゾート	男子 18 校 女子 18 校	2,990
3	全日本学生テニス選手権大会	8/21 -8/31	四日市テニスセンター	男子 60 校 女子 60 校	4,900
4	全日本学生なぎなた選手権大会	8/10	静岡県武道館	男女 20 校	1,050
5	全日本大学ボクシング王座決定戦	8/4	兵庫県立武道館	男子 2 校	1,000
6	全日本学生レスリング選手権大会	8/21 -8/24	駒沢体育館	男子 40 校 女子 20 校	1,000
7	全日本学生カヌースプリント選手権大会	8/26 -8/31	山形県 西川町 月山湖	男子 16 校 女子 18 校	1,000

8	日本学生選手権水泳競技大会	8/4 -8/31	横浜国際プール他	競泳:男子26校 競泳:女子28校 水球:男子16校 水球:女子7校 AS:16校 飛込:男子9校 飛込:女子11校	3,000
9	全日本大学ソフトボール選手権大会(女子)	8/30 -9/1	愛知県安城市総合運動場	女子 32 校	925
10	全日本大学ソフトボール選手権大会(男子)	9/7 -9/9	富山県岩瀬スポーツ公園ソフトボール場	男子 32 校	925
11	全日本大学選手権大会(ローイング)	9/3 -9/7	戸田ポートコース	男女 70 校	1,050
12	全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会	8/29 -9/3	千葉県総合スポーツセンター	男子 90 校 女子 65 校	3,910
13	全日本学生テコンドー選手権大会	9/7	兵庫県立武道館	男子 20 校 女子 10 校	1,000
14	全日本学生柔道体重別選手権大会	9/27 -9/28	日本武道館	男子 68 校 女子 42 校	5,280
15	全日本学生スポーツ射撃選手権大会	10/23 -10/26	栃木県ライフル射撃場	男子 35 校 女子 35 校	1,000
16	秋季全日本学生サーフィン選手権	10/26 -10/27	千葉県鴨川市東条海岸	男子 20 校 女子 6 校	1,000
17	日本U23トライアスロン選手権	10/26	東京都台場	男子 6 校 女子 5 校	1,000
18	全日本学生馬術大会	10/29 -11/3	兵庫県三木ホースランド	男女 90 校	1,600
19	全日本学生ホッケー選手権大会	10/30 -11/3	大井ホッケー競技場	男 24 校 女子 16 校	1,000
20	全日本大学アルティメット選手権大会	11/1 -11/2	福島県Jビレッジ	男子 24 校 女子 24 校	1,280
21	少林寺拳法全日本学生大会	11/1 -11/2	日本武道館	男女 124 校	2,150
22	全日本大学アメリカンフットボール選手権	11/8 -12/14	甲子園など	男子 8 校	1,770
23	全日本学生バドミントン大学対抗戦	11/6 -11/9	いしかわ総合スポーツセンター	男子 32 校 女子 32 校	4,800
24	全日本学生ハンドボール選手権大会	11/2 -11/23	いしかわ総合スポーツセンター	男子 32 校 女子 32 校	3,230
25	日本学生オリエンテーリング選手権 スプリント・ロング部門	11/22 -11/23	栃木県矢板市	男女 43 校	500
26	全国大学ラグビーフットボール	11/22	国立競技場など	男子 14 校	2,730

	選手権大会	-1/11			
27	全日本大学空手道選手権大会	11/16	日本武道館	男子 67 校 女子 57 校	1,810
28	全日本大学男女バレーボール選手権	12/1 -12/7	大田区総合体育館など	男子 64 校 女子 64 校	4,630
29	全日本学生パワーリフティング選手権大会	11/29 -12/1	愛知学院大学	男子 12 校 女子 5 校	1,000
30	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(男子)	12/12 -12/14	山梨市総合体育館	男子 11 校	500
31	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(女子)	12/12 -12/14	山梨市総合体育館	女子 18 校	500
32	全日本学生スポーツチャンバラ選手権大会	12/13 -12/14	小田原アリーナ	男女 85 校	1,200
33	全日本大学バスケットボール選手権大会	12/2 -12/14	国立代々木競技場第二体育館など	男子 24 校 女子 24 校	6,280
34	全日本学生スキー選手権大会	1/30 -2/23	菅平高原他	男子 63 校 女子 51 校	1,000
35	日本学生オリエンテーリング選手権 ミドル・リレー部門	3/13 -3/15	三重県伊賀市	男女 40 校	500

▶他競技の大会運営を学び、自競技の運営に活かせるように、競技団体の大会運営力向上支援策として、競技横断型のインカレ視察会を初開催した。

バレーボール	12/6(土) 12/7(日)	大田区総合体育館	参加者7名(バスケ2名・ホッケー1名・ハンドボール2名・馬術2名)
バスケットボール	12/13(土) 12/14(日)	大田区総合体育館	参加者20名(バドミントン14名・ハンドボール2名・バレーボール4名)

▶スポーツセーフティネット制度

天候与件等不可抗力な事由により試合・大会が中止になった際の増加費用を補償する保険制度。UNIVAS CUP指定大会 12 大会を補償の対象として大会開催における競技団体のリスク軽減を図った。

12 大会	全日本学生レスリング選手権大会
	全日本学生カヌースプリント選手権大会
	全日本大学ソフトボール女子選手権大会
	全日本大学ソフトボール男子選手権大会
	全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会
	全日本学生テコンドー選手権大会
	秋季全日本学生サーフィン選手権

	少林寺拳法全日本学生大会
	日本学生オリエンテーリング選手権大会スプリント競技部門・ロングディスタンス競技部門
	全日本大学バレーボール男子/女子選手権大会
	日本学生オリエンテーリング選手権大会 ミドル・ディスタンス、リレー競技部門
	全日本学生バドミントン大学対抗戦

## (2) 試合動画の配信

- ▶ 大学スポーツの注目度を向上させ、ファン開拓の促進を目的として、UNIVASCUP指定大会やリーグ戦を中心に試合の動画を配信。配信プラットフォームを独自配信アプリのUNIVAS Plusから【公式】UNIVAS「大学スポーツ協会」YouTubeチャンネルに変更して配信した。同時に、10月4日の関東大学バレー秋季リーグからチャンネルメンバーシップ限定の有料ライブ配信を実施した。

### [配信結果]

- ・配信試合数: 428試合 (前年比12.5%) 前年3,414試合
  - ・総動画再生回数※: 4,846,502回 (前年比365.2%) 前年1,326,918回
- ※総動画再生回数は、ショート動画、過去動画等含む再生回数

### [競技大会別配信実績]

※No.9は10月4日から、No.13とNo.15は全ての試合がメンバーシップ限定配信(有料)

No.	大会名	期間	配信試合数	動画再生回数
1	関東大学バレー春季リーグ	4/12~5/18	131	749,620
2	札幌大学野球春季リーグ	5/1 - 5/2	5	19,830
3	第3回全日本大学バスケットボール新人戦(女子)	7/12~7/13	4	38,708
4	JVA第37回全日本ビーチバレーボール大学選手権大会	8/07	4	26,131
5	第64回全日本学生なぎなた選手権	8/10	43	9,285
6	2025年全日本学生テニス選手権大会	8/31	4	17,989
7	第79回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会	8/31	2	159,752
8	第19回全日本学生テコンドー選手権大会	9/07	45	6,590
9	関東大学バレー秋季リーグ ※途中からメンバーシップ限定配信(有料)	10/26	136	235,748
10	全日本学生ホッケー選手権	11/03	4	9,696
11	全日本学生馬術大会2025賞典総合馬術競技大会(障害)	11/03	2	1,245

12	第76回全日本学生バドミントン大学対抗戦	11/09	1	67,684
13	ミキプルーンスーパーカレッジバレー2025 ※メンバーシップ限定配信(有料)	12/04 -12/07	19	68,016
14	全日本学生ハ゜ワーリフティンク選手権大会	12/06-12/07	12	15,423
15	第77回全日本大学バスケットボール選手権大会(女子) ※メンバーシップ限定配信(有料)	12/11 - 12/14	16	16,009

▶ 試合動画の制作に際しては、学生の参加を推進した。

1) 試合実況アナウンサーとして学生を起用

・学生アナウンサー実況試合は以下の通り。

2025年12月14日(日)ミキプルーンスーパーカレッジバレー2025男子・女子、3位決定戦・決勝  
(男子2試合/女子2試合 合計4試合)

2) 試合動画制作業務を学生が担当

・機材の貸し出し、使用方法の現地指導を行い、以下の試合にて学生が制作配信を行った。

バレーボール関東リーグ戦  
(春:131 試合/秋:136 試合)

### (3)年間表彰の実施

▶ UNIVASの理念の浸透と実現に向けて、学生スポーツにおける学生アスリート・大学・競技団体等各関係者のあるべき姿・目指すべき姿を広く周知するために、理念に叶った活動を行った個人と組織団体の表彰を行う『UNIVAS AWARDS 2025-26』を開催した。

2026年3月2日(月)、品川インターシティホールにて UNIVAS AWARDS 表彰式を開催し、優秀賞受賞者・団体を招待、最優秀賞を発表した。パリ五輪金メダリストの角田夏実氏やUNIVAS AWARDS2020-21ウーマン・オブ・ザ・イヤー最優秀賞の田中佑美選手、東京五輪金メダリストの宇山賢氏、スポーツ庁河合純一長官もプレゼンターとして登壇。アラムナイ・アワード受賞者である株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役執行役社長 グループCEO中島達氏も来場。東海大学吹奏楽部研究会には式典中のファンファーレ、パフォーマンスショーに出演していただき、昨年以上に華やかな演出で式典を盛り上げた。3部門の最優秀賞には文部科学大臣賞を贈呈し、ゲストアスリートと受賞者によるトークセッションも実施した。

#### [UNIVAS AWARDS 2025-26 表彰式概要]

開催日:2026年3月2日(月)15:00~18:30(表彰式15:00~18:00、懇親会18:10~19:00)

会場:品川インターシティホール

参加者:188名(プレゼンター・関係者を除く(昨年参加者数:134名))

オンライン視聴数:2,741回(昨年視聴数:680回)

応募団体数 65 団体(56 大学・9 競技団体)・応募総数 213 件

(昨年団体数:63 団体(59 大学・4 競技団体)・応募総数 190 件)

[UNIVAS AWARDS 2025-26コース別応募数表彰数]

#	表彰名	最優秀	優秀	入賞	応募数
1	マン・オブ・ザ・イヤー*	1	9	25	35
2	ウーマン・オブ・ザ・イヤー*	1	9	30	40
3	パラアスリート・オブ・ザ・イヤー*	1	8	2	11
4	ルーキー・オブ・ザ・イヤー(マン)	1	6	9	16
5	ルーキー・オブ・ザ・イヤー(ウーマン)	1	5	3	9
6	サポーティングスタッフ・オブ・ザ・イヤー(マン)	1	6	7	14
7	サポーティングスタッフ・オブ・ザ・イヤー(ウーマン)	1	7	8	16
8	スポーツマンシップ・オブ・ザ・イヤー	-	1	11	12
9	コーチ・オブ・ザ・イヤー	1	7	8	16
10	デュアルキャリア形成支援優秀取組賞	1	1	9	11
11	安全安心環境構築優秀取組賞	1	2	5	8
12	大学スポーツプロモート優秀取組賞	1	3	11	16
13	大学スポーツ組織運営優秀取組賞	1	2	6	9
14	アラムナイ・アワード*	1	-	-	-
	合 計	13	66	134	213

\*1-3 の最優秀賞には文部科学大臣賞、13 の最優秀賞にはスポーツ庁長官賞を授与。

\*14 は選考委員会による推薦のため応募なし。

受賞者は株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役執行役社長グループCEO 中島達氏

#### 4. 大学のスポーツガバナンス支援推進事業

##### (1) My UNIVAS の登録

▶ 運動部学生を登録してデータベース化し、運動部・大学や競技団体が学生を管理できるようにするプラットフォームを開発、学生や運動部、大学や競技団体の登録を実施。

	内容
My UNIVAS	・登録者数 56,335 人 ※2026/3/31 時点

##### (2) スポーツ庁委託事業「感動する大学スポーツ総合支援事業」の実施

▶ スポーツ庁の委託事業である「感動する大学スポーツ総合支援事業」を受託し、以下 3 つの事業を実施した。

- ① 大学スポーツムーブメントモデル創出支援事業
- ② 大学生指導員の養成・確保に関する実証事業
- ③ 大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業

上記 3 事業においてモデル大学を募集し、15 大学 18 事業を採択、その成果を発表するシンポジウムを 2026 年 3 月に実施した。

[名 称] スポーツ庁委託事業

「令和 7 年度 感動する大学スポーツ総合支援事業」成果報告会

[主 催] スポーツ庁、一般社団法人 大学スポーツ協会

[開催日]2026年3月9日(月)13:00~18:00

[会場]立命館大学大阪いばらきキャンパス 立命館いばらきフューチャープラザ

[参加者]110名

### 【採択大学一覧】

#### ①大学スポーツムーブメントモデル創出支援事業

大学名	事業名
京都橘大学	京都橘大学ビーチバレーボールホームゲーム ビーチバレーボール大学対抗戦 -KYOTO TACHIBANA CUP-
立命館大学	ReLIVE BUDO RE:FRAME

#### ②大学生指導員の養成・確保に関する実証事業

大学名	事業名
育英大学	群馬県における、運動部活動の地域移行に貢献できる大学生指導員の養成・確保
東海大学	東海大学における学生スポーツ指導者の育成と中学校部活動地域化プロジェクト
奈良教育大学	教員養成系大学体育会における、大学生による部活動指導員派遣体制の構築
新潟医療福祉大学	大学生指導員の養成・確保に向けた総合型地域スポーツクラブ連動型プロジェクト ～『医福大×ハピスカ』プログラムの実践～
日本女子体育大学	日本女子体育大学と近隣自治体の連携による運動部活動の地域移行システムの構築 ～女性指導者の持続可能な指導活動を目指して～
立命館大学	スポーツアナリスト育成および地域循環モデル構築プロジェクト

#### ③大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業

大学名	事業名
鹿屋体育大学	鹿屋体育大学と広域市町村圏域との連携によるウェルビーイング波及モデル事業
順天堂大学	SOGIを踏まえた新たなスポーツのカタチを創造～Rainbow sports(レイスポ)～
東海大学	東海大学湘南キャンパスを中心としたスポーツによる学園地域振興モデル創出事業
八戸学院大学	氷上スポーツと陸上スポーツで構成する「マルチスポーツプログラム」構築実践事業
福岡大学	「福岡大学発“FUスポまちコンソーシアム”の実働によるマルチスポーツの普及・振興モデル」～リアルスポーツとeスポーツの融合による多世代・多様な体験機会の創出～
環太平洋大学	環太平洋大学体育会と地域連携による、不登校児童生徒の心身機能向上の支援事業
国際医療福祉大学	測る・動く・つながる:地域スポーツ資源の活用による健康支援と交流モデルの実践
帝京平成大学	帝京平成大学 市原市ライフタイムスポーツプロジェクト ～スポーツライフから始まる地域コミュニティの活性～
新潟医療福祉大学	「大学×地域×スポーツ」でスポ柳都にいがたプランの実現へ! ～「NUHWスポーツフェスタ」拡大プロジェクト～
美作大学	美作大学をフィールドにしたスポーツプラットフォームの構築～スポーツでつながろう～

### (3)コンプライアンス研修会の実施

#### ①オンライン研修会

昨年度の参加者からの要望を踏まえテーマを一部変更し、特に受講者の関心度が高いテーマを絞り、知識の習得に加え行動の定着を目指し、全 12 回のオンライン研修を実施した。後日アーカイブ配信を行うことで、2,230名に対して知見の共有とコンプライアンス意識の徹底を図った。

開催日	テーマ	対象者	ライブ 受講者数	アーカイブ 受講者数
6/30	ハラスメント ～スポーツ現場における法的リスクと責任～	管理者・指導者	168	30
6/30	大学生が巻き込まれやすいトラブル(SNS編)	学生	158	54
8/7	大学生が巻き込まれやすいトラブル (薬物・飲酒・喫煙編)	学生	286	29
8/18	Z世代・運動部学生と向き合う指導術 ～信頼の築き方と主体性を育てる関わり方～	管理者・指導者	104	105
8/21	大学生が巻き込まれやすいトラブル (闇バイト・ブラックバイト編)	学生	381	40
9/17	大学生が巻き込まれやすいトラブル (賭博・交通違反編)	学生	105	15
10/8	大学生が巻き込まれやすいトラブル (ハラスメント編)	学生	39	37
10/15	大学生が巻き込まれやすいトラブル (悪徳商法編)	学生	33	12
10/15	大学生が巻き込まれやすいトラブル (薬物・飲酒・喫煙編)	学生	37	29
10/27	SNS(誹謗中傷と法的手続き)	管理者・指導者・学生	144	50
11/17	SNSの法的リスク	管理者・指導者・学生	97	35
2/16	クリーンスポーツの実現に向けて ～今日からできる！アンチ・ドーピングの第一歩～	管理者・指導者・学生	222	20
合計			1,774	456

#### ②講師派遣研修の実施

各大学・競技団体が独自に実施する研修会等に対して講師派遣を行い、4,271名(21大学・4競技団体/30回)に対して、講義やグループディスカッションを通じてコンプライアンス意識の醸成を図った。

日付	大学・競技団体名	参加者数
4/9	駒澤大学	80
5/13	関西大学(弓道部)	56
5/23	宮城学院女子大学	28
5/29	大阪成蹊大学	101
5/30	立教大学	21
6/3	岐阜協立大学	16
6/28	全日本大学野球連盟(首都大学野球連盟)	892
6/29	全日本大学野球連盟(東都大学野球連盟)	468
7/2	全日本学生スキー連盟(慶應義塾大学体育會スキー部)	18
7/10	順天堂大学	361
8/1	阪南大学(2回)	345
8/4	福井工業大学	269
8/6	甲南大学(ラグビーフットボール部)	31
9/18	日本ウエイトリフティング協会	149
9/29	立命館大学	158
11/17	早稲田大学	223
12/9	環太平洋大学	22
12/12	近畿大学	80
1/29	福井工業大学	327
2/4	佛教大学	60
2/12	立教大学(ボート部)	50
2/16	鹿屋体育大学	30
2/18	熊本学園大学	64
2/20	国際武道大学	41
3/4	全日本大学バレーボール連盟	180
3/7	中央大学	30
3/16	京都橘大学(2回)	151
3/30	関東学院大学	20
	合計	4,271

③大学スポーツ・インテグリティ育成アプリ「まこトレ」の展開

大学スポーツにおけるインテグリティ(誠実さ・高潔さ)の確保と、学生アスリートが社会の一員として適

切な行動をとるための自律的な学びを支援することを目的に、スマートフォンアプリ「まことレ」をリリース。本アプリは、NHKエデュケーショナル社と連携し、学生が能動的にコンプライアンスや倫理観を学べるコンテンツを提供しており、累計ダウンロード数は6,757、研修動画は延べ9,457名に視聴いただいた。

コンテンツ	タイトル	視聴数
5分で知るコンプラ	コンプライアンスとは何かを知る	2,363
	ハラスメントを知る	1,132
	加害者への処分を知る	1,042
	身近に潜む犯罪を知る	961
	悩んだら相談しよう。	892
大学スポーツ基礎研修	大学スポーツってなんだろう ＜大学スポーツ：自ら選び、学ぶ、大学という挑戦の場＞	1,638
	学びと競技、どちらも“本気”でやってみよう ＜学生アスリート：両輪で切り開く未来の力＞	300
	見えないユニホーム”を着こなそう＜インテグリティ：誰かに言われなくても、誠実であるこころざし(志)＞	560
	学生アスリートとしての責任を果たそう＜コンプライアンス：信頼される学生アスリートとしての社会的責任＞	347
	まさかに備え、準備をしよう ＜安全安心：スポーツ活動のためにも“まさか”に備えよう！＞	222
合計		9,457

#### 4) UNIVASカンファレンス2026の開催

▶ 大学スポーツの振興とインテグリティの向上を目的に、全国4会場（福岡、東京、名古屋、大阪）にて「UNIVASカンファレンス2026」を開催した。

本カンファレンスは「大学スポーツの『今』を知り、『次』のアクションへ」をテーマに、加盟大学のスポーツ統括部局や学生支援担当者が一堂に会し、自大学の立ち位置の客観的把握と、他大学とのネットワーク構築を図る場として実施された。

■ 各会場の開催概要・講演テーマ

開催地	開催日/会場	講演テーマ	講師	参加者数
福岡	2026年2月25日 九州産業大学	大学スポーツにおける非営利法人の活用 ー資金運用の透明性の新たな視点ー	谷塚 哲 氏 (行政書士/東洋大学 准教授)	47名 対面:16名 オンライン:31名
東京	2026年3月3日 品川インターシティ ホール&貸会議室	学生アスリートを守る大学のガバナンス、相談窓口体制の概要	大河原 遼平 氏 (TMI総合法律事務所 弁護士) 小塩 康祐 氏 (TMI総合法律事務所 弁護士 / UNIVAS法務部部长)	35名 対面:10名 オンライン:25名
大阪	2026年3月10日 立命館大学 (大阪いばらきキャンパス)	大学スポーツに求められる役割	廣田 美香 氏 (スポーツ庁 参事官(地域振興担当))	29名 対面:6名 オンライン:23名
愛知	2026年3月12日 愛知大学 (名古屋キャンパス)	持続可能な大学スポーツの環境整備	工藤 信介 氏 (MS&ADインターリスク総研株式会社 リスクマネジメント第一部リスクエンジニアリング第三グループ グループ長)	22名 対面:7名 オンライン:15名
4会場合計		133名(対面39名・オンライン94名)		

5. UNIVAS の認知浸透に向けた広報活動

(1) SNS フォロワーの拡大

▶Instagram のフォロワーを増やし、学生、幅広いユーザーに認知拡大を測った。Z世代に親しみやすい動画投稿を増やし、昨年より倍以上の投稿を実施し、更新頻度を高める運用を行った。Xや写真投稿を実施するために専門会社に委託し、タイムリーな情報発信を大学生へ展開し、フォロワーの拡大を図った。

	フォロワー数	月平均投稿数	備考
X	9,006 ( 8,666)	133 (76)	インプレッション数では、約3,800,000を超え、幅広い年齢層に情報を拡散した
Instagram	25,897 (14,004)	252 (113)	約 11,000 人のフォロワーを獲得し、目標であった20,000人を超え多くのユーザーに認知された

※()内は前年実績値

(2) 学生による広報活動

▶UNIVAS の活動に学生を参画させる目的で、UNIVAS STUDENT LOUNGE(U.S.L.)として大学スポーツの魅力を発信する活動を行った。

第5期メンバー: 26 名

<在籍大学>

北海学園大学、国際教養大学、上智大学、昭和女子大学、専修大学、中央大学、法政大学、明治学院大学、早稲田大学、中京大学、大阪大谷大学、神戸大学、同志社大学、立命館大学、環太平洋大学、広島経済大学、徳島大学

<活動内容>

4-3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を中心とした発信を行い、タイムリーな投稿を実施</li> <li>・UNIVAS CUP 現地取材、地域バレーボールリーグ、早慶定期戦、バスケットボール新人戦など</li> <li>・フライングディスクの投稿では2,500,000Viewを超える数字を獲得し、多くの方に視聴された</li> </ul>
2-3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UNIVAS AWARDS 2026 事前(過去受賞者:100mH 田中佑美選手、3000mSC 菅蒲敦司選手、喜多美結さん)/本番取材</li> <li>・KICK OFF MEETING 2027 開催</li> </ul>

(3) フォトギャラリーの展開

➤UNIVAS CUP 指定大会の熱戦の様様や出場アスリートの活躍を撮影し、SNS での発信やオフィシャルサイトに「PHOTO GALLERY」を公開し、My UNIVAS サービスの一環として、大会に出場した学生に写真を届ける”写真データダウンロードサービス”を展開した。

掲載競技	アーチェリー、なぎなた、テニス、ボクシング、レスリング、カヌー、水球、アーティスティックスイミング、ソフトボール、ローイング、ソフトテニス、テコンドー、柔道、スポーツ射撃、サーフィン、馬術、ホッケー、フライングディスク、ハンドボール、アメリカンフットボール、バドミントン、オリエンテーリング(ロング&スプリント)、空手、トライアスロン、バレーボール、パワーリフティング、ウエイトリフティング、スポーツチャンバラ、バスケットボール、スキー、オリエンテーリング(ミドル&リレー) 31 競技
ダウンロード数	25,108枚 (前年:10,081枚 前年比 249.0%)

(4) 情報提供依頼の受付

➤UNIVAS が保有するさまざまな情報の利用を促進、UNIVASの存在価値の浸透を推進した。

	2025 年度
取材申し込み	9 (15)
素材提供(写真)	32 (25)
素材提供(動画)	6 (3)
後援依頼	8 (11)

※()内は前年実績値

6. 組織基盤の整備

(1) 会員の開拓と維持

1) 入退会会員

① 入会: 5 大学

入会日	会員名	備考
4/1	志學館大学	
	中央学院大学	
	新潟産業大学	

10/1	くらしき作陽大学	
12/19	札幌大学	

②退会：7 大学

退会日	会員名	備考
4/1	桃山学院教育大学	桃山学院大学と統合
3/31	学校法人睦学園	兵庫大学、兵庫大学短期大学部
	四日市大学	
	学習院大学	
	大分大学	
	東京経営短期大学	環太平洋大学へ改組

2) スポーツ庁の協力も得ながら、未加盟大学に対し入会に向けた説明会を実施。

日付	会議名	会場	出席者数
9/26	私大協理事会	アルカディア市ヶ谷	69
10/21	私大連理事会	アルカディア市ヶ谷	35
1/21	国大協理事会	※スポーツ庁のみ参加	27
1/28	公大協学長会議	一橋講堂	101

日付	会議名	会場	出席大学数
10/28、30	(UNIVAS主催) 未加盟大学説明会	オンライン開催	18
2/25	(スポーツ庁主催) 未加盟大学説明会	福岡:九州産業大学	6
3/3		東京:品川シーズンテラス	13
3/10		大阪:立命館大学	10
3/12		名古屋:愛知大学	3

3) 大学代表者懇談会

▶ 12 月 19 日に対面とオンライン併用のハイブリッド形式で開催し、下表の 53 大学の代表者が参加した。

愛知大学	周南公立大学	長崎国際大学
朝日大学	順天堂大学	南山大学
亜細亜大学	上武大学	新潟医療福祉大学
育英大学	仙台大学	新潟経営大学
桜美林大学	創価大学	日本経済大学

大阪体育大学	大正大学	日本福祉大学
鹿屋体育大学	大東文化大学	羽衣国際大学
関西学院大学	中京大学	八戸学院大学
環太平洋大学	中部学院大学	広島経済大学
九州産業大学	筑波大学	びわこ成蹊スポーツ大学
京都先端科学大学	帝京大学	福井工業大学
熊本学園大学	帝京平成大学	福岡大学
甲南大学	天理大学	福岡工業大学
神戸医療未来大学	東海大学	富士大学
國學院大學	東海学院大学	佛教大学
国際武道大学	同志社大学	明海大学
駒澤大学	東北学院大学	山梨学院大学
志學館大学	東洋大学	

(2) パートナー企業の開拓

▶ パートナー企業の開拓および既存パートナー企業との連携強化のため、企業連携推進部を新設し活動を強化し、新規で10社とのパートナー契約を締結した。

	企業名
継続	MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
	株式会社KEIアドバンス
新規	株式会社NHKエデュケーショナル
	NXキャッシュ・ロジスティクス株式会社
	花王株式会社
	スターフェスティバル株式会社
	第一三共ヘルスケア株式会社
	株式会社タニタ
	株式会社ティップネス
	日本郵政株式会社
	株式会社ベネッセi-キャリア
	渡辺パイプ株式会社

\* 50音順

## 7. 組織運営業務

### (1) 会議体の運営

▶ 協会の意思決定に関わる社員総会、理事会、執行理事会を次のとおり実施した。

#### 1) 定時社員総会：1回

※アルカディア市ヶ谷にて対面開催。

開催日	出席理事数	議題	
		決議事項	報告事項
6/23	7名	2件	2件

#### 2) 理事会：6回開催

※開催方式は全会とも対面とオンラインのハイブリッド開催。

開催日	理事会種別	出席理事数	決議事項	報告事項
5/30	通常理事会	18名	6件	4件
6/23	臨時理事会	20名	9件	0件
7/29	通常理事会	22名	4件	8件
10/30	通常理事会	17名	2件	8件
12/19	通常理事会	20名	3件	6件
3/30	通常理事会	22名	2件	4件

#### 3) 執行理事会：11回開催

※開催方式は全会オンライン開催。

開催日	出席理事数	決議事項	協議事項	報告事項
4/18	7名	1件	2件	5件
5/19	6名	4件	1件	3件
6/16	7名	3件	1件	6件
7/16	7名	2件	1件	3件
9/16	6名	4件	1件	9件
10/10	6名	2件	0件	4件
11/14	6名	3件	1件	2件
12/11	5名	3件	0件	2件
1/23	7名	3件	1件	6件
2/16	5名	0件	0件	5件
3/18	6名	1件	0件	1件

(2) 規程の制定・改定

▶ 以下規程の制定・改定に関して理事会にて決議し、施行した。

施行日	制改廃	規程	制定・改定のポイント
6/23	制定	UNIVAS運営諮問委員会規程	UNIVASの活動及び運営に関する重要事項について審議し会長へ答申する委員会について定める。
7/29	制定	情報セキュリティ管理規程	法人が取り組むべき情報セキュリティ実施事項の原則を定める。
10/30	制定	寄付金等取扱規程	一般寄付金、使途特定寄付金、クラウドファンディングによる寄付金等について必要な事項を定める。
4/1	改定	育児介護休業規程	関連法案の改正施行に準拠。

(3) 国・関連団体との連携

1) スポーツ庁「運動・スポーツ中の安全確保対策に関する検討会」への参画

スポーツ関係団体、有識者、関係省庁等の協力を得て、運動・スポーツ中の安全確保に関する現状・課題を整理し、安全確保のために共通して取り組むべき事項を整理するための検討会が設置され、弊会からは川原副委員長が委員として参画した。

<開催日> 第1回(5月30日)・第2回(7月22日)・第3回(8月26日)・第4回(11月10日)

2) スポーツ庁「令和7年度スポーツにおける暴力等行為の根絶に向けた連絡会議」への参画

スポーツ庁参事官(民間スポーツ担当)主催の掲題会議において、スポーツ統括6団体における相談窓口の稼働実態や暴力行為根絶に向けた取り組みの共有を行った。

<開催日> 2026年2月27日

3) スポーツ審議会基本計画部会「関連団体ヒアリング」

第4期スポーツ基本計画の策定プロセスにおいて、関連するスポーツ団体の一つとしてスポーツ審議会基本計画部会によるヒアリング会議に参画、弊会の取り組みと大学スポーツ振興に向けた課題提起を行った。

<開催日> 12月4日

(4) 学会・会議体への参画

日本体育・スポーツ・健康学会 <会場> 日本体育大学	8/28	UNIVASとKEIアドバンスが提供する学習支援教材「運動部学生のためのスポーツ探究ことば入門」を活用した支援プログラムを、本教材の制作協力者の一人である北陸大学の山本啓一教授が解説した。
日本アスレティックトレーニング学会 <会場> 帝京平成大学	9/6	大学スポーツの安全安心な環境の構築に向けたUNIVASのこれまでの取り組みを紹介するとともに、今後の展望を伝え、多くの運動部活動の現場で活動しているアスレティックトレーナーの方々の協力を促した。川原副会長・安全安心委員長、池田専務理事が登壇。 <参加者> 100名
令和7年度東京都部活動改革シンポジウム	8/2	都内公立中学校等において、地域の実態に応じた地域連携等が推進されるよう、保護者、学校関係者、区市町村関係者、スポーツ・文化芸術団体関係者、大学関係者等を対象として、東京都教育委員会が主催する部活動改革シンポジウム。第三部分科会に出展。

附属明細書

1. 当法人の執行理事に関する事項

当法人の執行理事の氏名、地位、重要な兼職の状況につきましては、次に記載のとおりです。

氏名	地位	重要な兼職の状況
福原紀彦	代表理事	日本私立学校振興・共済事業団 理事長 中央大学名誉教授・研究開発機構教授 一般社団法人 日本資金決済業協会(JPSA)代表理事・会長 マリタックス法律事務所 弁護士
川原貴	執行理事・副会長	一般社団法人全日本テコンドー協会 会長 一般社団法人女性アスリート健康支援委員会 会長 公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団 常務理事 公益財団法人健康・体力づくり事業財団 理事 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構 監事 公益財団法人日本オリンピック委員会 評議員 公益財団法人日本スポーツ協会スポーツ医・科学委員会 委員長
有森裕子	執行理事・副会長	公益財団法人日本陸上競技連盟 会長 認定 NPO 法人ハート・オブ・ゴールド 代表理事
池田敦司	執行理事・専務理事 / 事務局長	仙台大学 特任教授
伊坂忠夫	執行理事	立命館大学 副学長 教授 一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAI 代表理事 会長 日本バイオメカニクス学会 会長
境田正樹	執行理事	TMI 総合法律事務所 パートナー弁護士 スポーツ庁スポーツ審議会 スポーツ基本計画部会委員 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 理事
友添秀則	執行理事	環太平洋大学 教授 スポーツ庁スポーツ審議会スポーツ基本計画部会 委員 文部科学省中央教育審議会 専門委員 公益財団法人日本学校体育研究連合会 会長 一般財団法人日本スポーツ政策推進機構 常任理事 一般社団法人日本スポーツ教育学会 理事 日本体育科教育学会 理事 学校法人尚美学園 理事